※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　理科

科目	地学基礎	単位数	2
使用教科書	地学基礎（東京書籍）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	１単位	１単位
レポート	３通	３通
必要出席回数	４回	４回
テスト	○	○

地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身につけている。

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 前期では我々のいる地球とそれを取り巻く宇宙について学びます。後期では地球の歴史と将来について考えるために環境問題について学びます。
- 内容上、大きな数値は出てきますが、計算は極力除外された内容になっています。教科書を丁寧に読めばレポートはできるよう配慮しています。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球の取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって、地学的に探究する能力と態度を育み、地学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

Ⅰ．地学に関する観察を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。宇宙や地球の姿、形について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

Ⅱ．宇宙や地球に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。

Ⅲ．日常生活や社会との関連を図りながら様々な自然現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境に関連する事物・現象の中に問題点を見つけ、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	地球について・宇宙の進化	大地とその動き 地震 火山 宇宙の構造と進化 太陽と惑星	a:誤答や誤字、脱字なく丁寧に記述している。 b:地学現象とプレート運動とを関連づけられている。 c:積極的に視聴教材や岩石標本の観察を行っている。	・定期考査 ・レポート	・定期考査 ・レポート	・レポート
後期	地球の変遷・地球のこれから	生命の変遷 地層や岩石の観察 地球環境の考え方 自然環境の変動 日本の自然環境 これからの地球環境	a:誤答や誤字、脱字なく丁寧に記述している。 b:自然環境の変化の要因について考えられている。 c:積極的に視聴教材の観察を行い、学習報告書を作成している。	・定期考査 ・レポート	・定期考査 ・レポート	・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度